小児Ⅱ　様式Ⅱ－６

**患　児　ア　セ　ス　メ　ン　ト（全体像）**学籍番号：

平成　　年　　月　　日作成　　　患児愛称　　　　　男・女　　　歳　　　ヶ月　　　　　　　　　　　　　 　　氏　　名：

| 受け持ち患児の情報 | 分　　　析　　・　　アセスメント | 考えられる問題 |
| --- | --- | --- |
| ＜医学診断名＞  **診断名をすべて挙げ、優先順位をつけ記載する**  ＜現病歴、既往歴、医師からの説明＞  **様式Ⅱ－３記載事項の必要と思われる患者情報及び学生が収集した情報を記載する**  **既往に関しては、今回の入院に関連のあるものを記載する**  **児と保護者が上記をどのように捉えているかについても記載する**  ＜治療＞**現在の治療方針の段階**  ＜検査＞**検査の種類ごとに分類して記載する**  ＜現症、主訴＞  **T・P・R・BR（　/　）を含む**  **児と保護者が上記をどのように捉えているかを記載する**  ＜栄養、代謝＞**水と電解質の摂取と吸収**  ＜排泄＞**泌尿器系・消化器系・外皮系・呼吸器系**  ＜睡眠＞  ＜活動、休息＞  **エネルギ平衡、循環・呼吸反応、セルフケア**  ＜認知、感覚＞  **成長発達アセスメントを参照しながら情報を整理し、自己の知覚もここへ記載する**  ＜家族、環境＞  ＜その他＞  **コーピング（児・保護者）、セクシャリティ**  **上記項目は、要項の詳細を熟知のうえ、小児の情報を分類する指標とする** | **診断名ごとに、症状などの情報をもとに患児が何故この診断に至ったかを**  **解釈する。**  **左記項目ごとに分析する。一般性との比較、患児の日常性との比較を**  **行い解釈し、看護問題を導きだす。** | 1. **Ｐ：共同問題、看護**  **問題**  **Ｅ：寄与因子、**  **原因、誘因**  **Ｓ：症状、兆候**  2.**Ｐ：共同問題、看護**  **問題**  **Ｅ：寄与因子、**  **原因、誘因**  **Ｓ：症状、兆候** |

九州看護福祉大学　看護学科